

## 年の瀬を告げる酉の市

12月6日、下町愛宕神社で年の瀬を告げる「酉の市」が行われました。

師走の風物詩として長く市民に親しまれているこの祭り。一年の無事を感謝し、来る年の幸せを願う参拝客らでにぎわいました。境内には、縁起物の熊手を売る露店が軒を連ね、商談が成立するたびに威勢のよい掛け声と手締め音が鳴り響いていました。



## 次の夢に向かって

12月13日、VIVAぎょうだで本市出身の今銚一恵さんによる講演会が行われました。

ウエイトリフティング競技で75kg級における日本公認最高記録などを保持し、全日本女子選手権6連覇や数々の国際大会出場など輝かしい実績を持つ今銚さん。「夢に向かって～出会いと感謝～」と題し、今までの競技人生を振り返り、肩のけがを乗り越え試合に出場した喜びや、出会ったさまざまな人への感謝の気持ちを語りました。そして、次のロンドンオリンピック出場を目指す意気込みを述べると、会場からは激励の拍手が起こりました。

## ドクターヘリ離着陸のための合同訓練

11月24日、早朝夜間にドクターヘリで急患の運搬を行うための離着陸訓練が消防本部で行われました。

市消防本部が埼玉県防災航空隊、埼玉県央広域消防本部、加須地区消防組合消防本部、羽生市消防本部と合同で訓練を実施。離着陸場施設確認、リンクライト（夜間照明設備）の設営と続き、日が暮れたころ、各消防本部職員による機体誘導訓練が行われ、救急搬送への対応を学びました。

また、市内では壮幸会行田総合病院でドクターヘリの受け入れが始まるなど、官民が連携して市民の安心・安全に取り組んでいます。



## 絶滅危惧種のキタミソウを守るために

11月22日、古代蓮会館でキタミソウPR大作戦が開催されました。これは、絶滅が危惧されているキタミソウを多くの人に知ってもらおうと「星川の自然とキタミソウを守る会」などで組織する実行委員会が主催したもので、約400人が参加しました。

キタミソウのキャラクター「キタミン」が紹介されたほか、南河原小学校4・6年生の児童らがキタミソウの歌「Link」などを披露。また、参加者らは声高らかに「みどりのぎょうだ環境宣言」を唱え、キタミソウをはじめとした行田の環境保護活動への志を新たにしました。

